長岡京市
第2期
教育振興
基本計画

【概要版】

心のふれあいを大切に　生きる力をはぐくむ
明日の長岡京を創る　しなやかな人づくり

長岡京市教育委員会

計画の策定に当たって

計画策定の趣旨

本計画は、長岡京市を取り巻く社会状況の変化、国・府の動向や本市の現状と課題を踏まえ、今後 10 年間の本市教育が目指すべき方向性とその施策を明らかにし、教育施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、策定するものです。

計画の位置づけ・期間

・教育基本法第 17 条第２項に規定されている「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」です。
・まちづくりの基本方針である「長岡京市第４次総合計画」の方向性を踏まえた教育に関する分野別計画です。
・計画の期間は、令和３年度から令和 12 年度までの 10 年間とします。（原則令和７年度に中間見直しを予定していますが、社会状況の大きな変化などにより必要な場合は、適宜見直しを行うものとします。）

長岡京市の教育が目指す姿

基本理念

心のふれあいを大切に　生きる力をはぐくむ
明日の長岡京を創る　しなやかな人づくり

「心のふれあいを大切に」は、多様な人々と関わりながら、自分の長所に気付き、自己肯定感を高めるとともに、互いの考え方を尊重し、共に学び合うことを示しています。

「生きる力をはぐくむ」は、変化が激しく複雑で予測困難な時代に、一人一人が生涯を通して主体的に学び、判断する力を身に付けるとともに、学んだことを生かして、自分の可能性を広げながら成長していくことを示しています。

これまでの地域の特性を生かした特色ある教育の姿勢を継承するとともに、子どもから大人まで、様々な人々との交流を通じて、自分自身や自分の暮らす地域に誇りを持ち、他者と協働・協力しながら明日の長岡京（新たな未来）を創ることができる、激動の時代を生き抜くしなやかさ（※）を備えた「人」の育成を目指します。

※　**本計画における「しなやかさ」とは**　人に寄り添う協調性、折れない強さ、型にとらわれない柔軟性を含めた、しなやかに成長する強さを示しています。

目指す人間像

基本理念で示した**「明日の長岡京を創るしなやかな人」**から導かれる、目指す人間像（本市の教育が目指す市民の姿）として、次の３つの人間像を示します。

これらの人間像は、変化し続ける社会において、一人一人が幸せな人生を送るため、長岡京市の教育が目指す市民の姿を明確にしたものです。

思いやりがあり、互いの違いを認め合い助け合える人

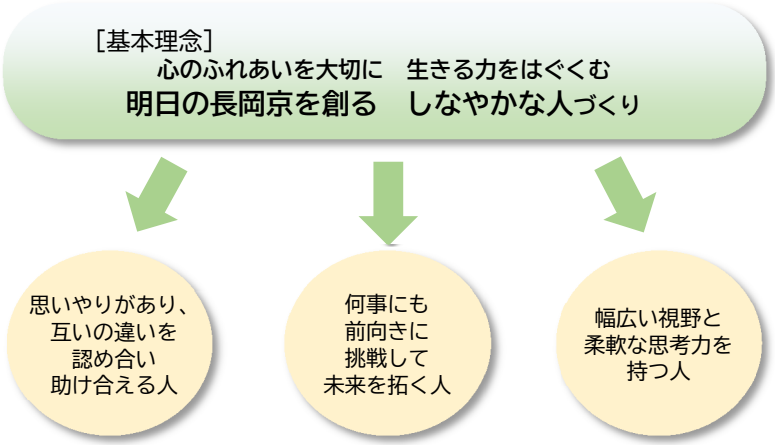
自分の命や人生を大切にし、社会の一員として他者の存在や個性を大切にする、思いやりがあり、互いの違いを認め合い助け合える人の育成を目指します。

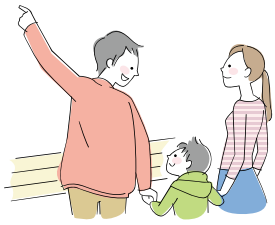
何事にも前向きに挑戦して未来を拓く人

自ら進んで、他の人々を巻き込み協力しながら、様々な問題に、何事にも前向きに挑戦する、未来を拓く人の育成を目指します。

幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人

基礎的な知識・技能に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力など、幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人の育成を目指します。





基本目標

本市の教育の“基本理念”と“目指す人間像”の実現に向けて、４つの基本目標を定めます。

基本目標１　子どもたちの「生きる力」の育成

基本目標２　持続可能な教育施策推進のための環境整備

基本目標３　生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり

基本目標４　子どもを中心につながる地域の学びの場の推進

施策の基礎となる視点

“基本理念”と“目指す人間像”の実現に向けて、４つの“基本目標”に基づき教育施策を展開するに当たり、今後基礎として踏まえるべき、全ての分野に共通する重要な視点として次の３つの視点を定めます。

視点１ うるおい資源の活用

「“うるおい”資源※の活用」により、長岡京らしい教育を効果的に展開する中で、地域を愛する人達、そして、新たなまちの活力を創り出す人材を育むとともに、まちを巣立った後もその力をまちに還元することができる仕組みづくりを進めていきます。

※　**うるおい資源**　西山の緑・水、歴史・文化などの本市が有する地域資源

視点２ ICTを活用した新たな展開

新しい時代の学びにおいて重要な基盤となる ICT 環境の整備や ICT を活用した学習活動をさらに推進することで、時代に応じた多様な学びにつなげます。

視点３ SDGsとの関わり

SDGs※の 17 のゴール（目標）のうち、主に「４質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指します。また、多面的に関連する複数の目標も意識しながら、すべての人に包摂的かつ公平な質の高い教育を提供するとともに、生涯学習の機会を促進していきます。

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

※　**SDGs（持続可能な開発目標）**　平成 27 年（2015 年）9 月の国連サミットで採択された国際社会全体の持続可能な開発のための国際目標（SDGs（Sustainable evelopment Goals の略））のこと

新たな教育の循環

～まちが人をはぐくみ、人がまちをつくる循環～

大人も子どもも、人や社会とのかかわりの中で、学び、成長していきます。

大人から大人へ、子どもから子どもへ、大人から子どもへ、子どもから大人へと、ふれあいや学び合いを通じた様々な学びが生まれ、学校、家庭、地域の結び付きにより、それぞれの場所での学びが相互に関係し、循環していくことで、学びがより深いものへとなっていきます。

そして、学びの成果がまち全体へと広がっていくことは、まちの活力をつくりだし、学びの環境づくりの充実へとつながるとともに、その学びが学校・家庭・地域に還元されることで、人が育まれていきます。

「新たな教育の循環」は、施策を推進するための方策であり、同時に本市における学びの充実と向上のために目指すべきものとして、その確立を進めていきます。

施策の展開

基本目標1　子どもたちの「生きる力」の育成

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育てるとともに、変化の激しい社会に対応しながら自己を実現し、しなやかに生きていくため、自ら学び、自ら考え、主体的に判断、行動し、問題を解決する資質や能力の育成等を推進します。

また、他者への理解や思いやり、協調性、感情をコントロールできる自制心等の他者とともに生きていく力を育成するとともに、他者との関わりの中で「自己肯定感」を高めていきます。そして、グローバル化する社会の中で、自身や自身の文化に誇りを持ち、他の文化や他のルーツを持つ人々と理解しながら、ともに新たな価値を創造し、明日を創る力を育成します。

さらに、子どもたち一人一人の興味・関心等に応じて、学びを深められる機会の提供や、生活や学びにわたる課題の早期発見等子どもたちの能力や可能性を最大限に伸ばし、児童生徒の個々の特徴に応じた、切れ目ない指導・支援を行い、一人一人を大切にする教育を推進します。

基本施策（１）学力の充実・向上

①　主体的に学ぶ子どもの育成

・主体的・対話的で深い学びを目指す授業づくり
・教科学習の充実と指導方法の調査研究
・英語（外国語活動・外国語）と国際理解教育の推進
・読書活動の充実（小・中学校）
・家庭における学習習慣の確立（小・中学校）

②　育ちと学びをつなぐ教育の推進

・就学前・小学校・中学校の連携推進

基本施策（２）心の教育の推進

①　道徳性を育む教育の推進

・道徳教育の充実
・実態に即した生徒指導（学級経営等）
・人権教育の充実（小・中学校）

②　豊かな人間性を育む体験活動の推進

・体験活動の充実

基本施策（３）健康・安全教育の推進

①　健康教育・安全教育・食育の推進

・健康教育の推進
・安全教育（防犯・交通安全）及び防災教育の推進
・安全管理の充実
・食育の推進と安全安心な給食の提供

②　体力向上の取組の推進

・学校体育・スポーツ活動の推進（小・中学校）

基本施策（４）きめ細かな支援の充実

①　特別支援教育の推進

・特別支援教育の充実　　・関係機関との連携による発達障がいなどの早期支援
・学校における指導体制及び学習環境の充実

②　教育的支援が必要な子どもへの相談・支援体制の充実

・いじめの問題等への対策　　・教育的支援が必要な子どもへの支援体制整備

基本施策（５）変化の激しい時代を生き抜く力を育む教育の推進

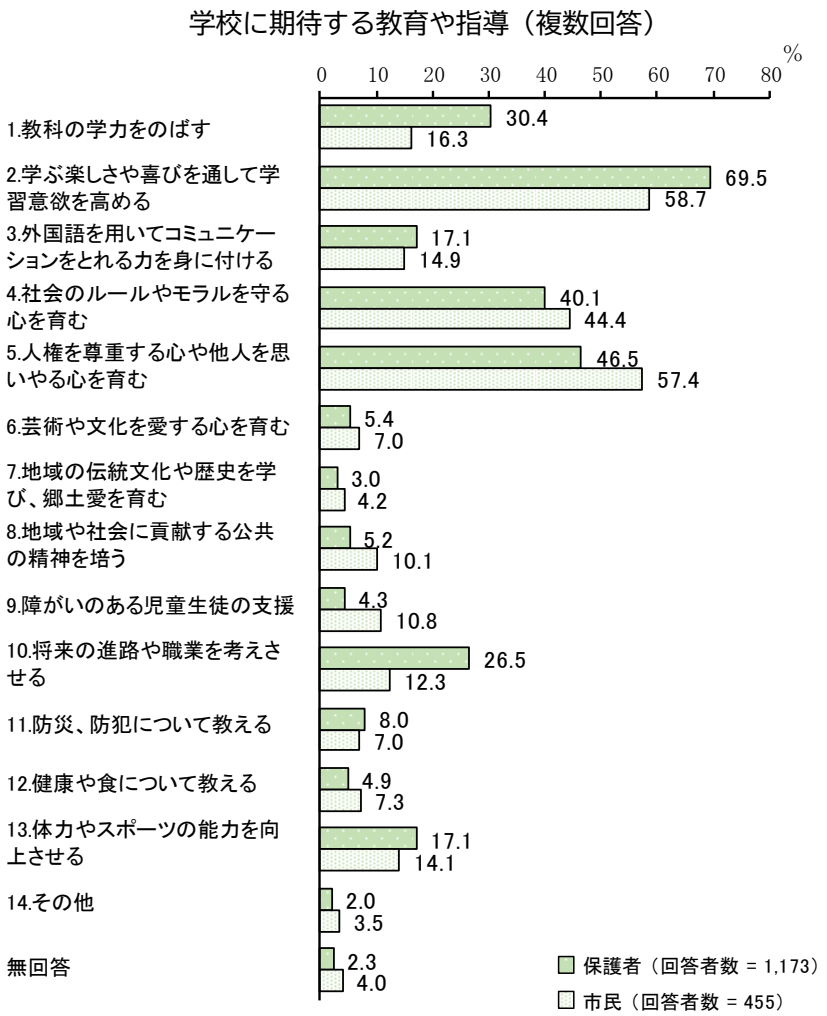
①　キャリア教育の推進

・キャリア教育の推進

②　グローバル化など社会の変化に対応した教育の推進

・英語（外国語活動・外国語）と国際理解教育の推進【再掲】
・プログラミング教育・ICT を活用した教育の推進及び情報活用能力の育成

アンケートより
＊学校に期待する教育や指導



　学校に期待する教育や指導について、保護者、市民ともに「2. 学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」の割合が最も高く、次いで「5. 人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む」「4. 社会のルールやモラルを守る心を育む」などとなっています。

※市民アンケート、保護者アンケート

基本目標 2　持続可能な教育施策推進のための環境整備

明日の長岡京を創る子どもたちが魅力ある空間で学び、安全・安心に生活できるよう、時代の変化に対応できる長期的な視点を持った施設・設備等の計画的な整備を行います。

また、優れた外部人材の積極的な活用を図り、開かれた学校づくりを進めるとともに、学校経営改革として、学校における組織体制や教職員の働き方を見直し、教職員の資質や指導力の向上に努め、教職員が子どもたち一人一人と向き合う時間を確保し、教育の質の向上につなげます。

基本施策（６）学びを支える環境の整備

①　学習環境等の整備・充実

・指導内容に対応した教材、備品の配備
・就学や進学に対する支援体制の充実

②　学校施設等の整備・充実

・学校施設安全快適整備
・学校施設再整備事業

③　教職員にとって働きがいのある環境づくり

・持続可能な学校指導体制の環境整備

基本施策（７）よりよい学校づくりの推進

①　教職員の資質能力の向上

・教職員研修事業

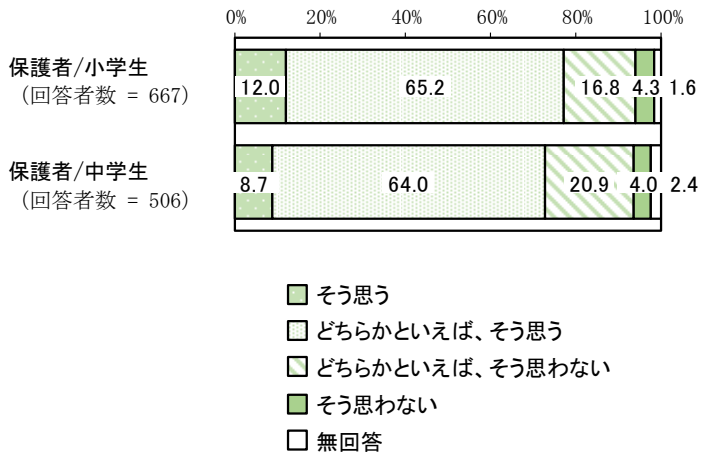
②　開かれた学校づくり

・地域とともにある学校づくり
・外部人材の活用

アンケートより

＊学校に期待する教育や指導について

学校に期待する教育や指導について、学校は全体として期待に応えてくれているか（単数回答）



学校に期待する教育や指導について、学校は全体として期待に応えてくれているかについて、小学生保護者、中学生保護者ともに、期待に応えてくれていると思っている割合（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）が 70%程度となっています。

※保護者アンケート

基本目標 3　生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり

人生 100 年時代の到来を踏まえ、生涯にわたって学び、豊かな人生を送るため、多様な学習機会や文化・スポーツ活動等に参加する機会や環境の充実に取り組みます。

また、学習機会の充実を図る中で、長岡京をはじめとする本市の貴重な文化財の保存と活用に努めるとともに、人づくりの土台となる市民の郷土への誇りやふるさと意識の高揚につなげます。

さらに、市民一人一人が多様性への理解を深め、学びの循環を通して市民同士がつながり、学習の成果を地域に還元することで、豊かな地域づくりにつなげます。

基本施策（８）生涯を通じた多様な学びの充実と人権教育の推進

①　生涯を通じた学びの機会の充実

・公民館市民講座開設事業
・中央生涯学習センター事業

②　地域に広がる学びへの支援

・社会教育推進事業
・公民館市民講座開設事業【再掲】
・各種団体サークル等活動支援事業

③　人を育む読書活動の推進

・図書館サービスの推進・充実
・読書活動の充実（小・中学校）【再掲】

④　人権教育・多様性への理解の推進

・人権教育・啓発推進事業
・人権教育の充実（小・中学校）【再掲】

基本施策（９）文化・スポーツの振興と文化財の保存活用

①　文化・芸術の振興

・長岡京芸術劇場推進事業
・文化活動推進・支援事業

②　スポーツの振興

・総合型地域スポーツクラブ推進事業
・スポーツ交流推進事業
・スポーツ施設環境の整備
・学校体育・スポーツ活動の推進（小・中学校）【再掲】

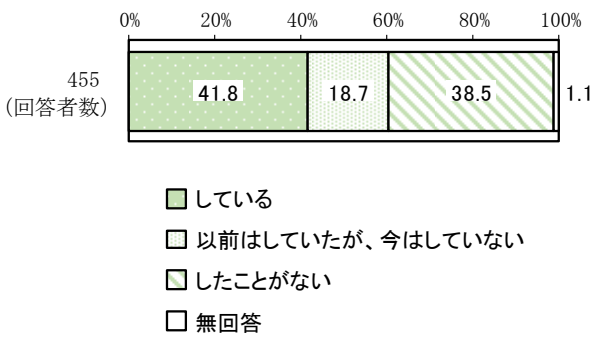
③　文化財の保存と活用

・総合的な文化財保存活用の推進

アンケートより

＊生涯学習の活動について

現在、生涯学習の活動をしているか（単数回答）



現在、生涯学習の活動をしているかについて、「現在している」は 41.8%、「以前はしていたが今はしていない」が 18.7%となっています。また、別の設問の結果では、これまでに行った自主的な学習活動内容は、「文化・芸術に関するもの」「スポーツに関するもの」の割合が高くなっています。

※市民アンケート

基本目標 4

子どもを中心につながる地域の学びの場の推進

子どもが豊かな人間性を育み、自立した社会の一員へと成長するため、学校・家庭・地域の連携・協働による教育の充実に向けた取り組みを行います。

地域の人々の学校教育活動への協力や、児童生徒の地域活動への参加など、本市の豊かな学習資源や地域人材を活用し、子ども中心に学校・家庭・地域の活動のつながりを深めることで、子どもたちの学びや成長につなげるとともに、地域全体の活性化につなげます。

基本施策（10）家庭・地域・学校の連携・協働による教育の充実

①　地域ぐるみでの育成活動の推進

・地域見守り活動の推進
・地域で支える中学校教育支援事業

②　家庭教育への支援の充実

・家庭教育に関する学びの機会の充実
・教育に関する保護者相談体制の充実
・児童館子どもの居場所づくり事業（子育てサロン）
・家庭における学習習慣の確立（小・中学校）【再掲】

基本施策（11）子どもを健全に育む場の充実

①　放課後児童対策の充実

・放課後児童クラブ育成事業

②　体験・交流の場の充実

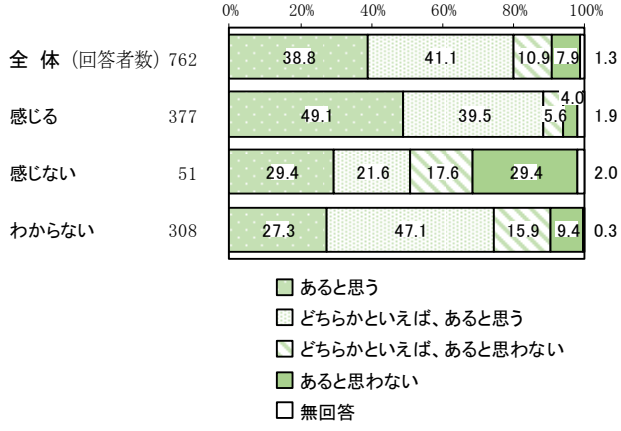
・すくすく教室推進事業
・児童館子どもの居場所づくり事業（子どもの遊び場等）

アンケートより

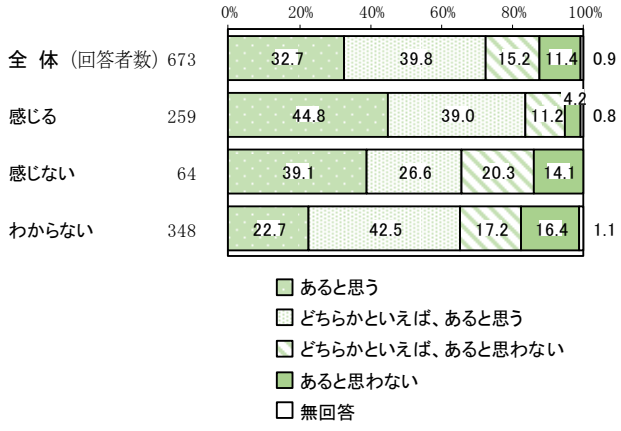
＊地域での育ちと自己肯定感の相関関係

地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別に自己肯定感（自分にはよいところがあると思うかどうか）をみると、小学生、中学生ともに感じる人で「あると思う」の割合が高くなっています。

自己肯定感（地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別）【小学生】（単数回答）



自己肯定感（地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別）【中学生】（単数回答）

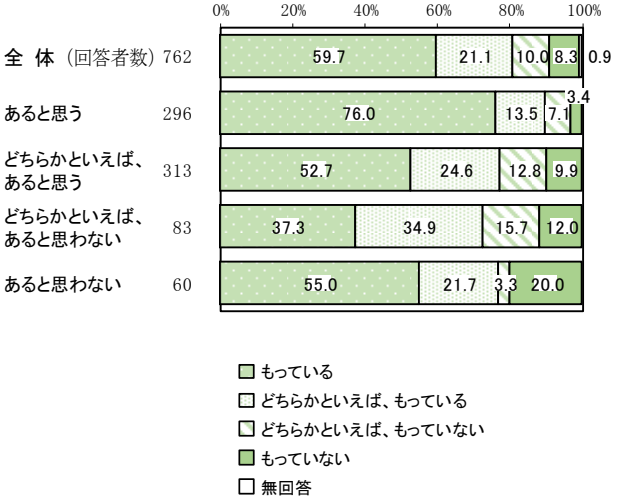


※児童生徒アンケート（クロス集計 (注)）

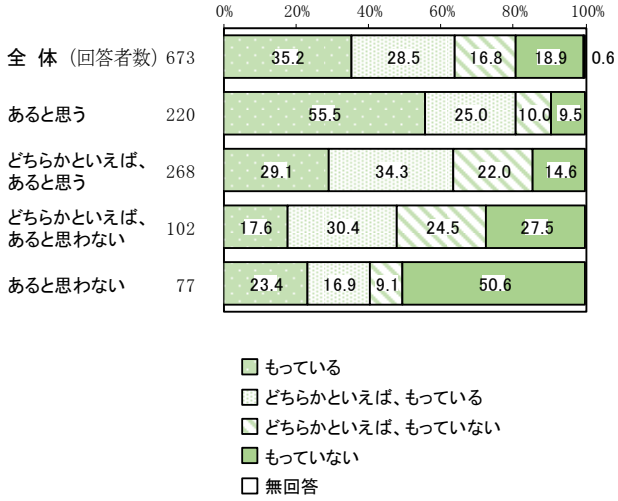
＊将来の夢と自己肯定感の関係について

自己肯定感別に将来の夢や目標の有無をみると、小学生、中学生ともにあると思う人で「もっている」の割合が高くなっています。

将来の夢や目標の有無（自己肯定感別）
【小学生】（単数回答）



将来の夢や目標の有無（自己肯定感別）
【中学生】（単数回答）



※児童生徒アンケート（クロス集計 (注)）

（注）クロス集計については、グラフの形式上、回答者数の計が全体と合わないことがあります。

計画の推進に向けて

計画の周知と情報の発信

ホームページ等さまざまな媒体を活用し、市民へわかりやすい説明と情報提供に努め、計画内容の周知を図ります。

計画の推進と点検評価

「目標指標」（実施計画で定める年次的な目標）の結果と施策に関連する統計の数値「評価指標」の推移に基づく点検評価を行い、客観的な根拠（エビデンス）に基づく政策立案(EBPM）と、より効率的・効果的な施策のマネジメントを行う PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルに基づく見直しにより、計画の推進を図ります。

かしこ暮らしっく
長岡京

長岡京市第２期教育振興基本計画（概要版）
〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目１番１号
長岡京市教育委員会　教育部教育総務課
電話：075-955-9532　FAX：075-951-8400